令和６年度第２回（第 13 期第２回）
八尾市環境審議会　温暖化対策部会
令和６年９月 27 日
資　料　1

第１回温暖化対策部会での意見についての回答

1．地球温暖化対策実行計画の進捗把握について

事務局にて「第3次八尾市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進捗管理表」について

①部門別取組指標について

意見	回答
運輸部門における充電設備の設置個所・基数（累積）のところ、令和5年度実績から基数ではなく口数に変わっている。一方で目標値の単位が『基』のままとなっている。単位が異なるので合わせる必要がある。	運輸部門における充電設備の設置個所・基数（累積）のところ、令和5年度実績から基数ではなく口数に変わったことに伴い、今後、第3次八尾市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の見直しの際に部門別取組指標を設定し直す。
家庭部門におけるうちエコ診断の実施件数について、実績は順調に進んでいるが、目標値がかなり大きい数値を設定されている。この目標値を達成するためにどうするべきか考える必要があるのではないか。	イベントでの周知を行うほか、市 HP や市政だより等を活用し、市民への周知を強化する。
廃棄物部門における資源化されている量を除くごみ処理量について、ごみ処理量を抑えるための具体的な施策はとられているのか。 生活様式が変わっていくなかで、ごみ処理はライフスタイルと密接にかかわっており、ごみ処理量をどのように抑えていくのか考えていく必要があるのではないか。 経年でデータ取得していると思うが、効果を見ていく上で修正が必要なのか、現状のまま進めていくのか、分析をしながら進めるべきである。	「八尾市一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）」に基づき事業を進めている。（参考資料：八尾市一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）【概要版】） 第1回目の温暖化対策部会の際は令和5年度実績を見込み値（令和4年度実績数値）で提示したが、令和5年度の実績集計が下記のとおり確定した。 【資源化されている量を除くごみ処理量（t）】 63,803 t（令和5年度計画値 64,594 t）

2. 地球温暖化対策実行計画に即した環境総合計画の改定ポイント及び改定内容（案）

「八尾市環境総合計画に関する改定の方向性と主な改定内容（案）」及び「八尾市環境総合計画改定概要（案）」について

① 削減目標について

意見	回答
市域の温室効果ガスの排出実績を見て、どのあたりのものが削減可能であると考えているか。 部門ごとに施策を出していき、そのうえで効果を把握することが重要である。 経年の動きやデータを拝見したところ、現状では2030年度で50%削減は到達するのは難しいと考える。毎年見ていくと増減はみられるが、現実的に技術的な政策を入れるのは時間がかかるため、市民の意識とライフスタイルの転換が現実的であると考える。それらを踏まえてどのように考え、進めていくのか。 この課題は日本だけでなく世界的な問題であるが、八尾市としてどう取り組むかが重要である。分析の中で、政策の効果を把握する必要がある。2030年まで6年しかない。限られた期間の中で、モニタリング、効果の分析を入れながら進めていくべきである。	八尾市では再エネ・省エネ機器の補助事業を実施しており、よりこの補助事業を強化し、業務部門と家庭部門において削減を進めていく。市域の温室効果ガスの排出実績の調査・分析の結果は次頁のとおりである。

【令和５年度実績（３年度実績）】

① 八尾市域全域からの CO_2 排出量　約 1,324 千 t -CO_2

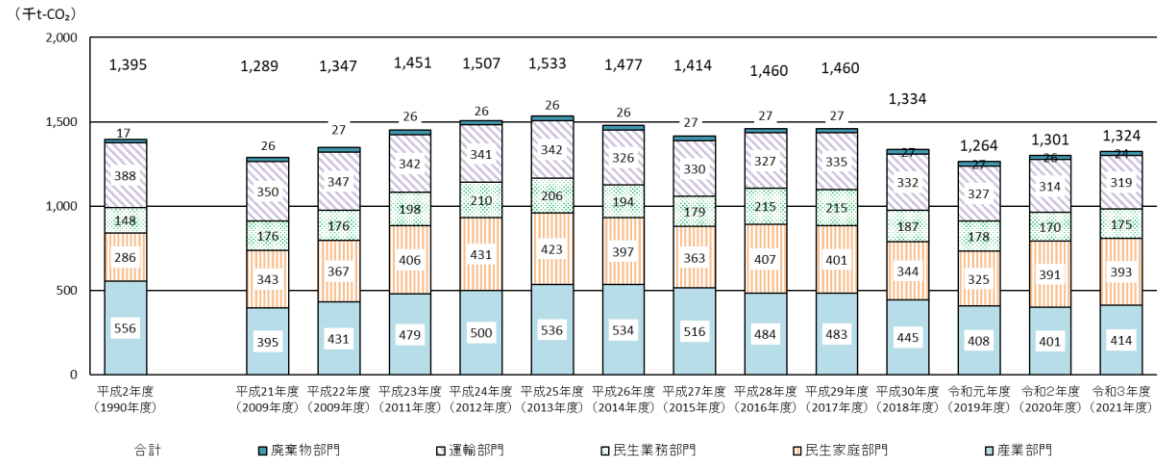
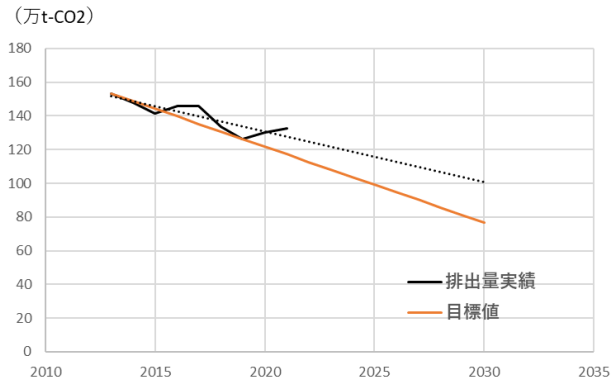


図１　八尾市域の二酸化炭素排出量の推移

令和３年度の八尾市域の排出量は、前年度比 1.8%増加、基準年度の平成 25 年度（2013 年度）比 13.6%の減少

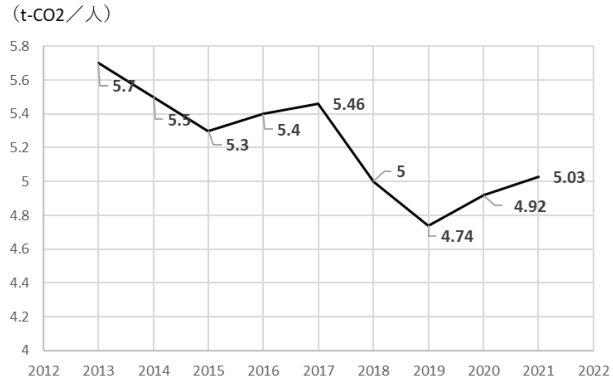


2013 年度実績からの二酸化炭素排出量の推移と目標値（2013 年度実績と 2030 年度目標を線形で処理）を比較した場合の相関は左図のとおり。

二酸化炭素排出量実績値の近似線から見た 2030 年度の排出量見込み値は、1,009 千 t-C02 となり、2030 年度目標値の 767 千 t-C02 との乖離で 242 千 t-C02 がある。

図２　八尾市域の二酸化炭素排出量の推移と 2030 年度目標との相関

② 人口１人あたり排出量　5.0 t -CO_2



八尾市の人口は減少傾向にあり、市域の二酸化炭素排出量を人口１人あたりで見た推移は左図のとおり。令和３年度の人口１人あたりの二酸化炭素排出量は、前年度比 2.3%増加、基準年度の平成 25 年度（2013 年度）比 11.7%減少

図３　八尾市域における人口１人あたりの二酸化炭素排出量の推移

③　部門別排出量

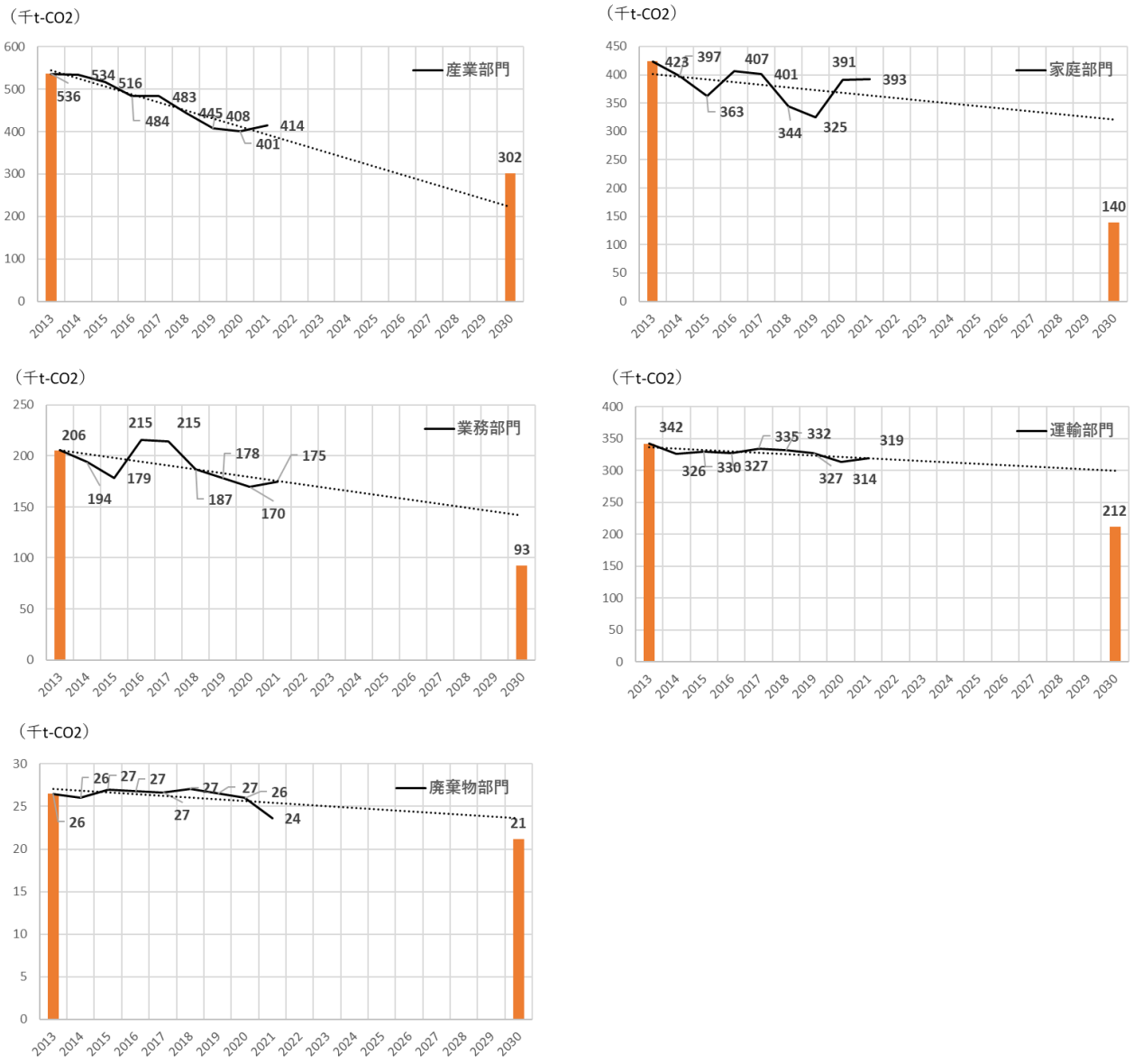
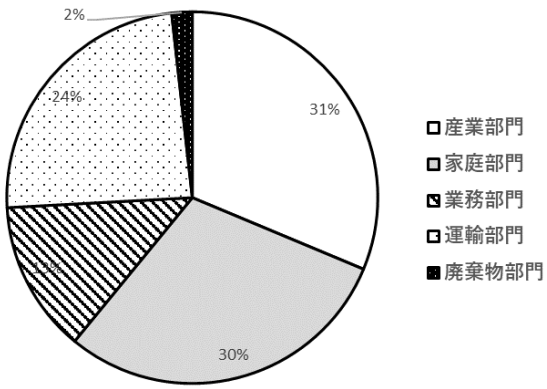


図４　八尾市域における各部門別二酸化炭素排出量の推移



産業部門　414 千ｔ-CO_2　（31.3%）
家庭部門　393 千ｔ-CO_2（29.7%）
運輸部門　319 千ｔ-CO_2（24.1%）
業務部門　175 千ｔ-CO_2（13.2%）
廃棄物部門　24 千ｔ-CO_2（1.8%）

図５　令和３年度市域の二酸化炭素排出量の各部門における割合

表１　八尾市の市域全体からの CO_2 排出量推計結果

部門	分野	内容	平成25年度（2013年度） 二酸化炭素排出量 排出量（t-CO2）	割合（%）	一人あたり排出量 排出量（t-CO2）	令和2年度（2020年度） 二酸化炭素排出量 排出量（t-CO2）	割合（%）	前年度比（%）	H25年度比（%）	一人あたり排出量 排出量（t-CO2）	前年度比（%）	H25年度比（%）	令和3年度（2021年度） 二酸化炭素排出量 排出量（t-CO2）	割合（%）	前年度比（%）	H25年度比（%）	一人あたり排出量 排出量（t-CO2）	前年度比（%）	H25年度比（%）
産業部門			535,948	35.0%	2.00	401,331	30.8%	−1.6%	−25.1%	1.52	−0.7%	−24.2%	414,403	31.3%	+3.3%	−22.7%	1.57	+3.8%	−21.3%
	農業	燃料の消費	243	0.0%	0.00	1,135	0.1%	−17.1%	+367.1%	0.00			1,183	0.1%	+4.2%	+386.8%	0.00		
	建設業	燃料の消費	14,137	0.9%	0.10	10,452	0.8%	+17.0%	−26.1%	0.04			11,162	0.8%	+6.8%	−21.0%	0.04		
	製造業	燃料の消費	521,568	34.0%	1.90	389,744	29.9%	−1.9%	−25.3%	1.47			402,058	30.4%	+3.2%	−22.9%	1.53		
民生部門			628,958	41.0%	2.30	560,414	43.1%	+11.4%	−10.9%	2.12	+12.4%	−7.9%	567,484	42.8%	+1.3%	−9.8%	2.16	+1.8%	−6.3%
家庭部門		燃料の消費	423,375	27.6%	1.60	390,685	30.0%	+20.3%	−7.7%	1.48	+21.3%	−7.7%	392,684	29.7%	+0.5%	−7.2%	1.49	+1.1%	−6.8%
業務部門		燃料の消費	205,583	13.4%	0.80	169,729	13.0%	−4.7%	−17.4%	0.64	−4.0%	−19.8%	174,800	13.2%	+3.0%	−15.0%	0.66	+3.6%	−17.0%
運輸部門			341,864	22.3%	1.30	313,661	24.1%	−4.1%	−8.2%	1.19	−3.3%	−8.8%	318,882	24.1%	+1.7%	−6.7%	1.21	+2.2%	−6.8%
	自動車	燃料の消費、自動車の走行	332,491	21.7%	1.20	297,046	22.8%	−4.1%	−10.7%	1.12			302,533	22.8%	+1.8%	−9.0%	1.15		
	鉄道	燃料の消費	5,142	0.3%	0.00	12,489	1.0%	−5.0%	+142.9%	0.05			12,138	0.9%	−2.8%	+136.1%	0.05		
	航空機	燃料の消費	4,231	0.3%	0.00	4,126	0.3%	+0.0%	−2.5%	0.02			4,211	0.3%	+2.1%	−0.5%	0.02		
廃棄物部門			26,483	1.7%	0.10	26,005	2.0%	−2.0%	−1.8%	0.10	−1.0%	−1.7%	23,597	1.8%	−9.3%	−10.9%	0.09	−8.2%	−10.0%
その他		エネルギー転換																	
合計			1,533,253	100.0%	5.70	1,301,411	100.0%	+2.9%	−15.1%	4.92	+3.8%	−13.7%	1,324,366	100.0%	+1.8%	−13.6%	5.03	+2.3%	−11.7%
人口（推計年度の10月1日人口）			270,264			264,642							263,245						

注）平成 25 年度は、計画の基準年度